

大和郡山市立筒井小学校 外国語活動授業記録		
(6)月(20)日(木)(2)限		
教材(Alphabet) 本時のめあて(アルファベットの大文字と小文字を一致させよう。)		
授業内容・指導者の指示と動き	児童の活動状況	良い点・課題(授業後の話し合い)
(Greetings)元気よく挨拶する Let's start today's lesson. Good morning, everyone. How are you?	元気よく挨拶する	○ロ々に元気に挨拶できた。 ●口が動いていない児童がいる。
(Classroom English) Stand up. Raise your hand. Make pairs. Make Groups. Listen to Me. Let's start. Repeat after me. 発音練習の後、動作をつけてチャンツで練習	①発音練習、②クラップで動作をつけて、③チャンツで動作をつけて A児:③も参加した。 B児:元気よくできた	○毎時間繰り返すことで全員が自信をもって取り組んでいた。 ○前時よりもさらに大きい声であった。
(Review)小文字アルファベット 発音練習(黒板にカードを貼っておく)。 b/v, m/nの発音を確かめる。 ABCソングを児童と一緒に歌う。	小文字アルファベット 発音練習, B児:発音した。 A児:発音した。 発音をよく聞き、どちらか挙手をする。 b, v:A児・B児挙手 m, n:B児正解し、嬉しそうな様子。 ABCソングを歌う。	●丁寧に発音することや、音をよく聞く、口や舌の動きをまねることをおさえる。 ○ABCソングは自然にどんどん速くなってしまっているので、 文字 文字を丁寧に歌うことを事前に言った。
(Activity) アルファベットカードばば抜き。グループで行う。 カードのやりとりをする会話をデモンストレーションする。 What do you want? "a" please. Here you are. Or sorry, no "a". グループで協力して大文字 A~Z、小文字 a~z を発音しながら机の上で並べる。	トランプのばば抜きと同じルールである。一人 5 枚大文字・小文字アルファベットカードをもつ。二枚そろったら、出す。カードがなくなったら、勝ち。 A児・B児:楽しく参加できた。 B児:カード 2 枚で拍手をしてもらい、喜ぶ。 A児:並べるのに参加したくて、たまに手を出して並べるのを手伝った。最後カードを集めるとき、他の児童と楽しく会話していた。 B児:ほぼ一人で並べた。 (途中後ろから順に並べた。) 最後カードを集めた。	○What do you want? Here you are. Sorry, no ~. をデモンストレーションし、発音練習をしっかりとったことで、英語でのやり取りはスムーズであった。 ●定型文の提示があるほうが良い。① ●カードがなくなると勝ちであるという説明がなかった。

(Writing)手本を見ながら小文字を書く。	小文字アルファベットを書く活動。	●書く練習(エアライティング)をする方が良い。②
(Reflection)振り返りシートの記入	振り返りシートを記入し、今日の活動を振り返る。	
(Greetings) That's all for today. Did you enjoy today's lesson? See you next time.	See you next time.	

次時及び今後への改善点・特記事項

①	大文字と小文字のペアを作る活動をするので、黒板にも両方のカードを貼った方が良かった。自信のない児童がいつでも見ることができるように。 前時、言えていなかったなので、やり取りをもう一度練習した。全員が活動に入ることができた。
②	書く活動に、計画性が必要。

大和郡山市立筒井小学校 外国語活動授業記録		
(7)月(9)日(火)(3)限		
教材(When is your birthday?)		
本時のめあて(月や日にちの言い方に慣れ、自分の誕生日を英語で言ってみよう。)		
授業内容・指導者の指示と動き	児童の活動状況	○良い点・●課題
(Greetings)元気よく挨拶する Let's start today's lesson. Good morning, everyone. How are you?	元気よく挨拶する	1・2限はプールの授業だったので、ほとんど I'm hungry.しか聞こえなかった。
(Classroom English) Stand up. Raise your hand. Make pairs. Make Groups. Listen to Me. Let's start. Repeat after me. Good job. How about you? Sit down. 動作をつけてチャンツで練習	動作をつけてチャンツで練習 A児・B児:一緒に参加していた。	○楽しく全員が参加できた。
(Review) 1~12月までの月の発音をカードを使って行う。 1~12月の歌を歌う。 日にちの言い方を練習する。1~31の序数。 ポスターを見ながら発音する。 ①	カードを見ながら、1~12月までの月の発音を大きな声で行う。 月の歌を歌う。 指導者の後について大きな声で発音する。 B児:参加せず。	○1~12月をしっかりと言えるようになった。 ●指導者の後について練習は大きな声でできるが、自分たちでとなると自信がなくなって声が小さくなる。 ○発音の難しい単語もあるが、しっかり練習できた。
(Activity-1) Number Game グループワーク 1~31の序数 1 st から順番に発音する。一人3つまで数字を言うことができる。31 st を言った児童が負け。 デモンストレーションをする。 必要に応じて支援する。	5~6人のグループを作る。 最初に言う児童を決める。 ゲームが進行するように、協力し合う。 大きな声で序数を言う。 A児:笑顔で参加。グループのみんなと協力していた。 B児:笑顔で参加。	3回行ったが、続けて 31 st を言うことになった児童は、悔しくて涙を浮かべていた。
(Activity-2)児童一人一人のお誕生日を聞く。必要に応じて支援する。 When is your birthday?	My birthday is ~ . 分からないときは尋ねる。	
(Writing)ワークシートの手本を見て書き写す。必要に応じて支援する。	自分の誕生日を英語で書く。 丁寧に書き写す。	
(Reflection)今日の授業を振り返り、シートに記入させる。	教室に戻って、振り返りシートを記入する。	●時間を確保することができず、記入できなかった。
(Greetings)That's all for today. Did you enjoy today's lesson?		

See you next time.	See you next time.	
--------------------	--------------------	--

次時及び今後への改善点・特記事項

①	黒板のスペースがなく、月の絵カードの上に重ねて日にちのポスターを貼ることになってしまった。
	A児の様子に変化が見られ、グループの友だちと協力する場面が増えてきた。活動中もずっと笑顔であった。 B児の様子にも変化が見られ、授業途中のグループワークに笑顔で参加できていた。
	授業の始まりの時、シェイクアウトの訓練であった。時間配分が変わった。振り返りシートの記入までできなかったが、時間配分の臨機応変な対応が必要である。

19-④. アルファベットのテリトリゲーム	21	10	3	0					
19-⑤. アルファベットの go fish ゲーム	21	10	2	1					
19-⑥. 自己紹介	19	11	4	0					
19-⑦. 1月～12月の歌	17	12	5	0					
19-⑧. 日にちゲーム	16	13	4	1					
19-①. What day quiz					19	10	3	2	2
19-②. Sunday, Monday, Tuesday の歌					21	9	2	2	2
19-③. Getting Card game					17	12	3	2	2
19-④. Can you～? Bingo					19	10	3	2	2
19-⑤. Who am I quiz					19	9	4	2	2
19-⑥. ジェスチャーゲーム					19	9	4	2	2
19-⑦. できること、できないことインタビュー					18	12	2	2	2
19-⑧. 行きたい国プレゼンテーション					19	14	1	0	0
19-⑨. マッチングゲーム					18	15	1	0	0

【記述】

2 学期の外国語活動の授業でがんばりたいことを書きましょう。(主なもの)

- ・英語でいろいろなことをもっと話せるようになりたい。
- ・もっと英語を言えるようになりたい。
- ・もつとがんばって英語で言えるようになりたい。
- ・ジェスチャーをつけて英語で言えるようになりたい。
- ・大きな声を出したい。
- ・英語を覚えて話せるようにしたい。
- ・発音をもうちょっとがんばりたい。
- ・ゲームを楽しくしたい。

3 学期の外国語活動の授業でがんばりたいことを書きましょう。(主なもの)

- ・発音よく、英語で楽しく授業できるようにがんばりたい。
- ・外国の人と少しでいいから話せるようになりたい。
- ・もつと外国語の勉強を知りたい。

- 英語でもう少し友達たちと会話ができるようになりたい。
- 英語で発表したい。
- 英語を理解し、きちんとと言えるようになりたい。
- もっと積極的に発表できるようにしたい。
- 英語はわかるので、発表をがんばりたいです。
- 手を挙げて、声を出す。
- 英語を読めるようになりたい。
- 発表を1回でも多くしてみたい。

【資料 10】

9月12日(木) 2限 筒井小学校 外国語活動授業記録

アクション・リサーチ：児童の関わり合いや横のつながりがある活動を取り入れた授業展開

本時のめあて：時間割について、たずねたり答えたりする表現を知ろう

時間	授業内容・指導者の指示等	児童の活動状況	気付き(○良い点、●改善点)
9:35	(Review) 曜日の歌を BGM に流す		
9:40	(Greetings) Good morning. How are you?		OT1,T2 の笑顔がとても良い。
9:45	(Classroom English)	音楽に合わせて、ジェスチャーを付けてクラスルームイングリッシュを発音する。 取り組み方が雑になっている。 A児:一緒に歌う。C(1):C(2)の方をよく見る。よく話しかける。 C(3):授業全般でさめた感じ。指遊びが多い。	●活動するのであれば、きちりさせることが大切。全員参加させたい。
9:50	(Pronunciation Practice) 曜日の単語、曜日の歌 仕上げにCDに合わせて歌う	大きな声で発音できた。 歌はあまり声が出ていない。 A児:前を見ているが発音せず。 C(4):教科書をめくり、発音せず。 C(5):曜日の確認発音している。歌も歌っている。	●声が出にくいときは、フレーズで区切って練習するなど、歌に参加させる工夫が必要。
9:55	(Pronunciation Practice) 教科・科目の単語 ロ々に児童に発音させながら、絵カードを黒板に貼る	全体に大きな声で発音できた。 C(6),C(7),B児:発音せず。	●教科の発音ができていたので、ここで後のやりとりに使うターゲットセンテンスを取り上げると効果的である。
10:00	(Activity-1) Missing game 曜日・科目両方の絵カードを黒板に貼り、児童が目を閉じている間に数枚カードをはずし、どのカードが無くなったかを答えさせる。	たくさんの児童が挙手をする。 C(8)最初に手を挙げる B児:2回手を挙げた A児:指さししながら覚えようとしている。	○全員が参加できた。
10:05	(Activity-2) Finding your partner Game 教科のカードを一人一枚配る。カードは友だちに見られないようにする。 A: What do you study?	C(9):発音練習中何度もC(10)を見る。 B児:参加せず。 C(12)C(13)活動中二人並んで窓にもたれて立つ。 T2がA児には、フェイントしながらカードを配る。A児も笑顔。	●説明時、指導者の発音が聞こえない。 ●最初からやりとりの対象がクラス全員だったため、日本語での雑談が多くなり、ねらいの活動になっていない。

【資料 10】

	<p>B: I study ~ (持っているカードの科目) . 練習したやりとりを行い、同じ教科のカードを持っている友だちを見つける。 T1, T2 でデモンストレーション</p>	<p>A 児: 復唱する。 C(14): デモンストレーションの時、しらけて見ている感じがした。 A 児: 最初は C(15) とのやりとりをする。その後は、T2 の支援もあり、他の友達ともやりとりをする。 C(17): T1 T2 のデモンストレーションの時に笑顔。 C(18): 友達をなかなか見つけられない。周りを見ながら、どうしたらよいかわからず立っている様子。</p>	<p>●ペアワーク→グループワーク→全体で進める方法や「〇人に友だちとする」という指示を出す、或いはある程度のタイミングでペアの友だちとカードを交換して同じカードを持っている新たなパートナーを見つけるなど改善が必要。 ●本時の中心となるコミュニケーション活動だが、ねらいのやり取りの活動に参加できていない児童がいる。</p>
10:15	<p>(Writing) I (have) ~ on Monday.</p>	<p>I (have) ~ on Monday. <u>have</u> をワークシートに書く Ca: 配布と同時に下半分を書き出す。 (慣れている) C(19): T1 の見本を見ず、シートに書いている。</p>	<p>●書く活動の単語と本時に学習した語が合っていない。 have は全員書けた。</p>
10:20	<p>(Reflection) 振り返りを行う。</p>	<p>振り返りシートを記入し、今日の活動を振り返る。</p>	<p>振り返りの自己評価は、時間がなくて、多くの児童ができなかった。</p>
	<p>(Greetings)</p>	<p>See you next time.</p>	

【資料 11】

10月24日(木) 3限 筒井小学校 外国語活動授業記録

アクション・リサーチ：児童の関わり合いや横のつながりがある活動を取り入れた授業展開

本時のねらい：できること、できないことを表す表現を知ろう。

時間	授業内容・指導者の指示等	児童の活動状況	気付き (○良い点、●改善点)
10:40	(Greetings) A: How are you? B: I'm ~. And you? A: I'm ~. Thank you. B: Thank you.	Let's start today's lesson. (リーダー) Let's start today's lesson. (全員)	○指導者の大変元気の良い挨拶がとても活気ある雰囲気を作っている。
	(Review) 前時学習した、動作の表現を絵カードを用いて復習。 ペアでジェスチャーゲーム ペアでできたら、右側の児童がローテーションする。パートナーを替えて行う。	絵カードで示された動作を英語で発音する。指導者の後について大きな声で発音する。 パートナーが示すジェスチャーを見て、英語で答える。お互いに行う。 A児:最初 C(1)の時は二人ともしなかったが、C(2)の時は二人で参加。以降はジェスチャーをする。	○全体的に大きな声が出ている。 ○パートナーが替わることに初めは少し戸惑いが見られたが、決まった友だちではなく、クラスの誰とでもやり取りができるようになるために、大きな一歩であると思われる。
10:54	(Small Talk) I can ~. I can't ~.を用いて、指導者のできることとできないことを話し、Can you ~?で机間を歩きながら、児童に尋ねる。	指導者の英語をしっかりと聞く。 尋ねられた内容について、Yes, Noで答える。 A児:TI からの質問にうなずいていた。	○しっかりと聞こうと、集中する姿が見られた。全員の顔が指導者に向いている。 ○指導者に笑顔で問われ、児童は嬉しそうに答えている。
	Today's goal めあての確認。 can, can't を用いて表現することを説明。	全員で読む。	●Small Talk で児童が聞き取った英文(can, can't を用いた)を1文、例として板書すると良かったのではないかな。
	(Activity-1) 黒板に笑った顔のマークと悲しい顔のマークを貼る。 絵カードの動作を指導者ができるかどうか児童に想像させ、can, can'tで答えさせる。できることは笑顔マークに、できないことは悲しい顔マークの下に貼る。 絵カードを貼りながら、I can~. I can't~.の表現を使	絵カードの動作を指導者ができるか想像し、答える。 A児:小声でcan, can'tを答えている。 C(3),C(4):見ているが、反応が薄い。 C(5),C(6):見ているが、復唱はしない。 I can~. I can't~.を使った英語を大	○大きな声で、楽しそうに答えている。 ●I can~. I can't~.を板書した方がわかりやすかったのでは。

【資料 11】

	って英語で言う。	きな声で後について発音する。	
11:05	(Activity-2) ペアワーク ペアで次のやり取りを行う。 A: Can you ~? B: Yes, I can. No, I can't. デモンストレーションをする。	C(7): 小声だが復唱している。 C(8), C(9): 復唱しない。 ペアでやり取りをする。ローテーションでパートナーを替える。 A: Can you ~? B: Yes, I can. No, I can't. ~には習った動作の表現を使う。	●デモンストレーションは、全員が前を向いている時の方が良いので、ペアになる前に行く。
11:15	(Writing) I can の後に自分のできる動作を英語で書く。 (Reading) (Reflection)	A児: 発音をカタカナでプリントに書く。 I can の後に自分のできる動作を選んで書く。 書けた英文をグループで読み合う。 今日の授業の自分の様子を振り返る。	○自分の書いた文を大きな声で読むことは、達成感を促す。 ○ゴールを意識した具体的な設問にする。

【Focus Interview】

女子 3人

- ・楽しかった。
- ・ yes I can. が分かった。
- ・ can の学習は分かった。
- ・ 友達とのやりとりもできた。
- ・ (3人とも) 友達と質問したり、答えたりする活動が楽しかった。

C(10), C(11)

- ・ 楽しかった。
- ・ can を使った活動が楽しかった。
- ・ ジェスチャーゲームが楽しかった。
- ・ 友達と can を使って、上手にお話できた。

・ Activity 1 で、do kendo のとき、指導者が I can do kendo. と言うと、C(12)が「えっ、できんの?」と言った。英語でのやり取りを通して、指導者や友だちの新たな発見をすることは、コミュニケーション活動だから生まれるものである。C(12)の言葉を大切にしたい。

- ・ Are you ready? などにはっきりとリアクションをするようにしたい。
- ・ 友だちの発表のときは、しっかり聞く姿勢をもたせたい。
- ・ ペアワークのとき、ペアになったときは “Hello.” 離れるときは、 “Thank you.” という習慣をつけたい。